

会 議 録

会議の名称	令和4年度第3回和泉創発プラン進行管理会議
開催日時	令和4年12月23日（金）10時から10時45分まで
開催場所	庁議室
出席者	<p>森吉副市長、吉田副市長、小川教育長 小泉参与、山本危機管理部長、山崎市長公室長、前田総務部長、濱田環境産業部理事（環境産業部長代理）、堂ノ上福祉部長、森市民室長（市民生活部長代理）、岩井子育て健康部長、八木都市デザイン部長、並木教育次長兼教育・子ども部長、辻生涯学習部長、森下上下水道部長、藤原消防長</p> <p>【事務局】 （政策企画室）東政策企画室長、西川政策・資産マネジメント担当課長、田嶋総括主幹、中津主事 （財政課）古川総務部次長兼財政課長、船津課長補佐 （人事課）奥人事課長</p>
欠席者	立花環境産業部長、森市民生活部長
会議の議題	<p>（1）和泉創発プランの改訂について</p> <p>（2）進行管理の手法について</p>
会議の要旨	<p>（1）和泉創発プランの改訂について 和泉創発プラン改訂版（事務局案）が承認され、引き続き、改訂の手続を進めることとした。</p> <p>（2）進行管理の手法について 進行管理に関する新たな取組について報告を行った。</p>
会議録の作成方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 要点記録
記録内容の確認方法	<input type="checkbox"/> 会議の議長の確認を得ている <input checked="" type="checkbox"/> 出席した構成員全員の確認を得ている <input type="checkbox"/> その他（ ）

審 議 内 容 （発言者、発言内容、審議経過、結論等）

事務局

令和4年度第3回和泉創発プラン進行管理会議を開催する。和泉創発プラン進行管理会議要綱第2条第2項の規定により、進行は森吉副市長にお願いする。

森吉副市長

次第に従って、議事を進める。

次第1. 議事(1)「和泉創発プランの改訂」について事務局から説明願う。

事務局

資料番号1「和泉創発プラン改訂に係る経過」について、資料番号2「議会の意見及び市の対応方針」、資料番号3「市長とのタウンミーティングにおける市民意見及び市の対応方針」、資料番号4「和泉創発プラン改訂(案)」を用いて説明する。

森吉副市長

これまで、市議会への報告、パブリックコメント、市長とのタウンミーティングと市議会や市民の意見聴取をし、改訂(素案)に一部記載を追記している。そして、本日の進行管理会議の中で最終の意見調整を行った上で、改訂(案)を確定させることが本日の会議の主目的であるが、これらを踏まえて、質疑や意見等はあるか。

吉田副市長

資料番号4「和泉創発プラン改訂(案)」47ページ「2. プランの推進体制について」の2段落目に「PDCAサイクルを推進する観点から、各取組の所管課が主体的に推進する」と記載があるが、PDCAサイクルを推進するためには、各部局長のマネジメントについても重要であると思うが、その点を記載追加しないのか。

事務局

当然所管課が事業を推進していく上では、各部局長のマネジメントは必須であると考えます。

森吉副市長

進行管理の手法については、次第2. その他にて事務局から報告があるので、そこで整理することとし、資料番号4「和泉創発プラン改訂(案)」は修正しない。

森吉副市長

他に修正等の意見がないため、和泉創発プラン改訂(案)について、当進行管理会議において承認する。

	事務局においては、引き続き、改訂の手続を進めるようお願いする。
森吉副市長	最後に、次第２．その他（１）「進行管理の手法」について事務局から説明願う。
事務局	前回の和泉創発プラン進行管理会議における「プランが計画どおり進捗しているか、課題が何であるかの記載がない」という意見を踏まえ、 資料番号 5 「和泉創発プラン進行管理の手法」について説明する。
森吉副市長	進行管理の手法については、次第１において意見があったが、「部局長によるマネジメント」の要素を 資料番号 5 「和泉創発プラン進行管理の手法」に記載追加することとし、具体的な記載箇所や内容については私に一任いただきたい。 また、新たな取組を追加することで、議会報告の方法や時期に変更はあるか。
事務局	議会報告については、従来どおり予算時期と決算時期の年２回協議会報告をさせていただくことで変更はない。
堂ノ上福祉部長	様式は現時点で確定しているのか。
事務局	様式については検討中である。
小川教育長	年間スケジュールを示していただきたい。
事務局	年間スケジュールについては従来から変更はなく、決算時期（７～８月頃）及び予算時期（１２～１月頃）に進行管理を行うものである。
山本部長	和泉創発プランの他に総合計画や公約等、事業を管理するためのツールが増えているように感じる。様式を統一する等、できる限り事務の効率化に努めていただきたい。
事務局	事務の効率化については、検討をしているところだが、各プランの目標等が異なるため、様式を統一することは難しい。

森吉副市長	事務局においては、システムを活用する等、事務の効率化に繋がる方法を今後も検討するように。
森吉副市長	新たな取組として、各部局においては、各所管事業の進捗状況を自己評価の上、課題を抽出していただくことになるが、事務局から依頼があった際には、ご協力願う。
森吉副市長	<p>その他、意見等がないので、本日の会議のまとめをする。</p> <p>和泉創発プランの改訂については、今回を含めた3回の進行管理会議、市議会への報告、パブリックコメントや市長とのタウンミーティングでの意見募集や市民説明等を経て、これまで十分に時間をかけて議論を進めてきた。</p> <p>各部局においては、昨年度から市長公約に関する事業計画の整理やこれに伴う各種調整等に取り組んでいただき、今回新たな事業としてプランに位置付けることができた。</p> <p>今後においては、本市が「魅力あるまち」、「選ばれるまち」になるようプランの実現に向け、しっかりと進行管理をしていくことが重要である。各部局においては、これまでも事業の大きな遅れもなく、着実に取り組んでいただいているが、今後についても、各部局長のリーダーシップの下、より一層着実にプランを推進するように願います。</p> <p>以上をもって、令和4年度第3回和泉創発プラン進行管理会議を終了する。</p>